

# 延暦時代

Enryaku Period (782-806)

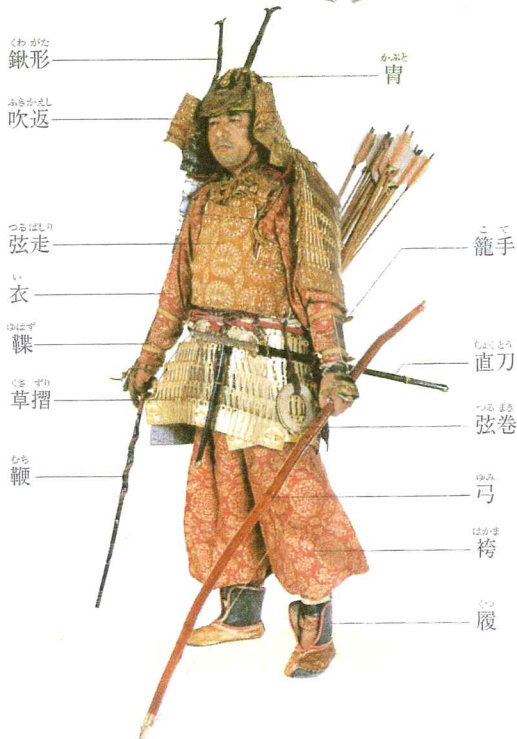
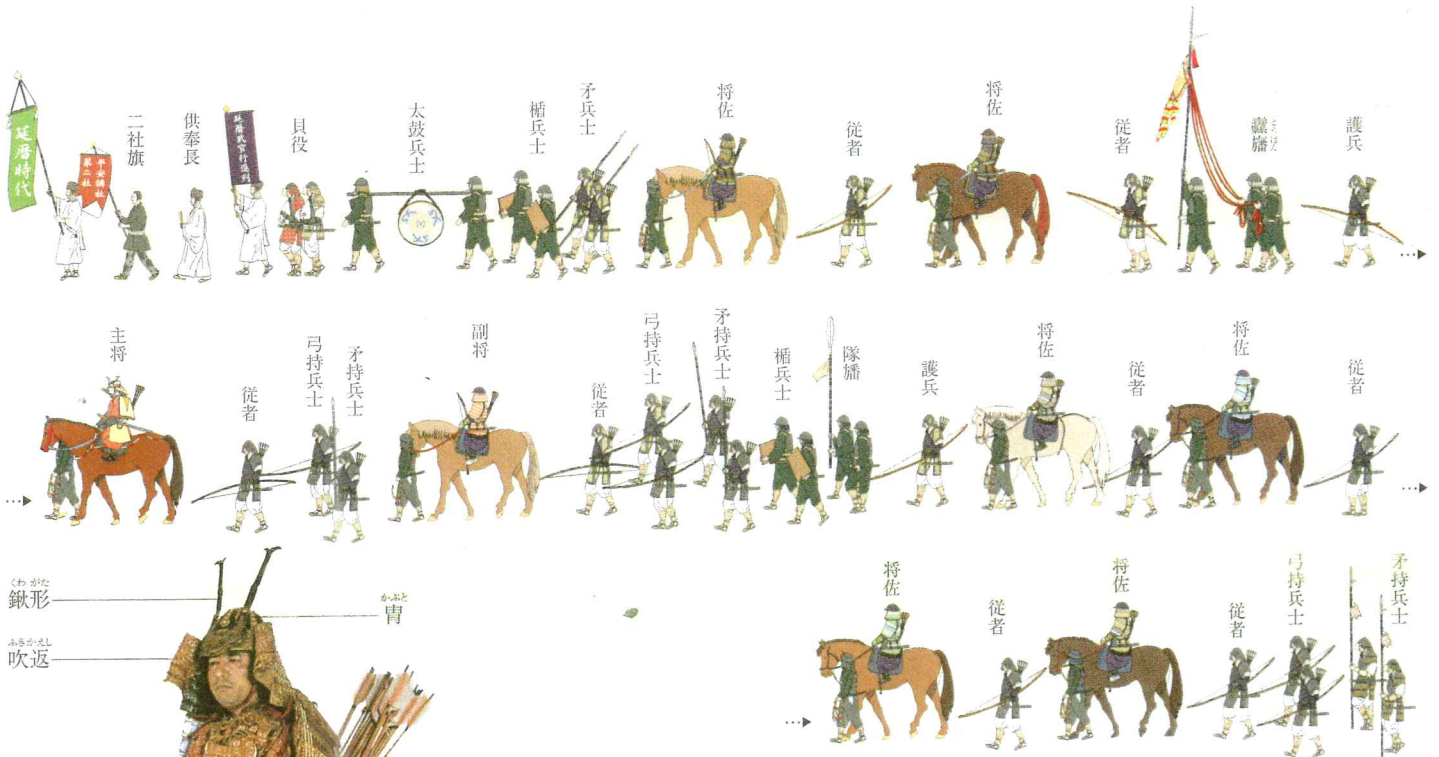
※事情により馬を使用しない場合があります。

## 延暦武官行進列

Procession of Enryaku Period Warriors

桓武天皇の治世「延暦」という元号には、万民が安心して暮らせる「平安楽土」実現への強い思いがこめられている。天皇は、延暦13年(794)に平安京へ遷都して千載不易の都を造営、政治の刷新に心を尽くされる一方、東北を鎮定して国家の再生を図られた。この列は正倉院御物や古墳の出土品などによる考証で、東征を終えた征夷大將軍坂上田村麻呂行軍の様子を表している。

This period began in 781 with the reign of Emperor Kammu, who moved the capital from Nara to Kyoto in 794, marking the start of the Heian Period. The costumes worn in this procession are based on historical evidence from tomb excavations and from imperial properties stored at the Shosoin treasure house in Nara.



主將 征夷大將軍  
坂上田村麻呂 Sakanoueno Tamuramaro

